



SIGNATURE DATA CD V

Users Manual



MSB
SIGNATURE DATA CD V
CD/WAV FILEs on DVDトランスポート
[取扱説明書]

もくじ

はじめに / 本機の概要.....	3
諸注意(使用/設置/接続/電源コード).....	4
クイックスタート ガイド.....	5
セットアップと接続 / MSB PRO I2S システム / バーンイン	
リアパネル各部と接続.....	6
フロントパネル各部と操作.....	7
リモコンの操作.....	8
リモコンの電池装着	
注意:リモコン用の電池の取扱について	
メニュー・オプション.....	10
メニュー・オプション操作のしかた.....	11
トラブルシューティング.....	12
主な仕様.....	12
保証.....	12

はじめに

このたびは、MSB テクノロジー “SIGNATURE DATA CD V” をお買い求めいただき誠にありがとうございます。本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。本機の優れた機能・性能を存分に発揮させ末長くご愛用いただくため、本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

[本機の概要]

MSB テクノロジーは、デジタルオーディオ創生期 90 年代初頭の早くから、一味違うマニアライクな CD プレーヤーや拘り抜いたラダータイプ DAC を手掛けて以来、常に時代を先取りする製品開発を進めてきました。デジタルプレーヤーの領域では、90 年代に最初の AC3 プレーヤーと初めて THX 認証を得たレーザーディスク・プレーヤーを開発。さらには、SACD ネイティブデータの送り出しをも可能とする XPORT アップグレードモジュールや iPod から直にデジタル信号を引き出す iLink を 2007 年にリリース。そして 2010 年、32bit384kHz にまで対応する初めての PCM ディスクプレーヤー “Platinum Data CD IV” を生み出しました。それは、通常の CD、CD-ROM は勿論のこと、リファレンスレコーディングの HRx などハイレゾ DVD-ROM などから、強力なドライバビリティの SATA-ROM ドライブメカでピックアップした PCM 音楽データを、ソリッドステートメモリーで再整列させ、ジッターフリーでビットパーフェクトなデータ・トランスポートを可能としています。

“Signature Data CD V” は、そうした MSB テクノロジーのデジタル技術を最も先鋭的に結晶させるもので、Platinum Data CD IV のすべての優れた特質の上に各部のさらなるブラッシュアップを施し、MSB 独自の超低ジッターで高精度な先進のインターフェース “PRO I2S” を搭載。この MSB PRO I2S インターフェースを使うと、マスタークロックは MSB DAC 側からの供給となりさらに強固な信号処理がなされ、CD とハイレゾ PCM ディスク音源から、かつてない高品位デジタル信号を引き出し DAC に伝送します。



ご使用上の諸注意

本機を安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 火災や感電等の危険を避けるため、湿気の多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。
- 火災や感電等の危険を避けるため、本機のカバーを取り外さないでください。内部にはお客様に調整していただく箇所はありません。
- 本機を、水のかかりやすい場所、湿気の多い場所で使用しないでください。
また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の内部にヘアピン等の特に金属の異物が入りこまないよう、充分にご注意ください。
- 本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
- 本機を、直射日光の当たる場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- 本機は指定された電源以外では使用しないでください。
- 本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤などを直接シャーンシに付けることは避けてください。

[設置について]

- オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方には通気を確保する空きを設けてください。
 - フロントパネルにはリモコンの受光部がありますので、ラック内に設置するような場合、フロントパネルが扉などで隠れてしまわないようご注意ください。
- リモコンは、赤外線ですから、ガラスなどは問題なく透過します。

[接続の前に]

- 接続は、本機および接続する機器の電源コードを抜いてから始めてください。



専用電源に付属の電源コードの取扱いについて

本機専用電源に付属の電源コードは本機専用です。他の機器にはご使用になれません。

クイックスタートガイド

[セットアップと接続]

1. 電源：本機は電源が別構成となっています。次頁の「リアパネル各部と接続」に基づいて適切な電源接続を行なってください。

2. デジタルオーディオ出力の接続：MSB DAC への接続は CAT-6(LAN)ケーブルを使って本機の MSB ProI2S 出力端子と MSB DAC の ProI2S 入力端子を接続してください。MSB 以外の DAC との接続は、その他のデジタル出力端子 3 系統のいずれかをお使いください。

※再生可能なディスク：CD 及び UDF フォーマットで書き込んだ 384kHz32bit までの WAV ファイル DVD。

[MSB PRO I2S システム]

本機はMSB DAC(AnalogDAC, DAC IV,Vシリーズ)との間で<MSB Pro I2S>接続を行なうと、DACのマスタークロックで本機を完全同期させたビットパーフェクトな高精度ドライブが可能となります。また、このI2S接続では、相互のグラウンドが切り離され、デジタル信号はL/Rデータとワードクロック、ピックロックの三つが分離して伝送されますので、極めて低ジッターでのデータ授受が実現します。そしてまた、I2S接続では、MSB DACへのPCM伝送レートは最大384kHz/32bitを達成し、極めて高いレゾリューションによる理想的なD/A変換が実現します。



<MSB Pro I2S>の接続は、専用の CAT-6(LAN)ケーブルを使用します。(右図)



[バーンイン]

一般的にオーディオ機器は配線材やコンデンサーなどの特性により、機器がベストコンディションに達するまで音楽再生による「バーンイン」運転が必要です。そのバーンイン時間には最低 100 時間程度を要します。

リアパネル各部と接続



1. DC 電源入力

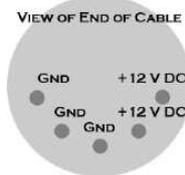
別売の電源ユニット(Desktop Power Supply または、Signature Transport Power Base などのトランスポート用、あるいは DAC V シリーズ用の Power Base)の 12VDC 出力から左側の 12V DIGITAL SUPPLY 端子に接続します。



Desktop Power Supply



Signature Transport Power Base



※Signature DATA CD V 本体には電源スイッチはありません。電源の ON/OFF は次のように行ないます。

- ・Desktop Power Supply の場合 : AC プラグの抜き差しで行ないます。
- ・Signature Transport Power Base など電源ユニットの場合 : 電源ユニットの電源スイッチで行ないます。

2. RS232

システムコントローラーで本機を操作する場合の端子です。

3. Digital Outputs

4 種類のデジタル出力端子を装備しています。

- ・Optical : トスリンク光出力(伝送レート=192kHz まで)
- ・Coaxial : 75Ω同軸出力(伝送レート=384kHz24bit まで)
- ・Balanced : 110ΩAES/EBU 出力(伝送レート=384kHz24bit まで)
- ・Aux1 : **MSB ProI2S** 出力(伝送レート=384kHz32bit まで); CAT6 LAN ケーブルで MSB DAC に接続します。



※その他の予備端子穴は使用しておりません。

フロントパネル各部と操作



- ・ **ディスク・トレイ**：ディスクをセットします。
- ・ **リモコン受光部**：赤外線リモコンの受光窓です。ここを塞がないように設置してください。
- ・ **電源ボタン**：VシリーズのSignature Transport Power Baseではこのボタンまたはリモコンの電源ボタンで電源 ON/OFF ができます。



1. ▲ **トレイ オープン/クローズ ボタン**
ディスクトレイを開け閉めします。

2. ▶|| **プレー/ポーズ ボタン**
再生/一時停止を切り替えます。

3. ◀◀ **トラック戻し ボタン**
押す度にトラックを前に戻します。
3秒以上押し続けると早戻し再生します。

4. ▶▶ **トラック送り ボタン**
押す度にトラックを送ります。
3秒以上押し続けると早送り再生します。

5. **ディスプレイ**
再生状態の各種情報を表示します。
・上段は再生時間を表示
・下段はソースのビットレートとサンプル周波数を表示
・右欄は再生中のトラック番号を表示します。

リモコンの操作

数字ボタン:

ダイレクト選曲時に使用します。トラック番号が一桁の場合、「0」と押すと素早く選曲します。「1」だけを押しと選曲にやや時間が掛かります。

ストップ ボタン: 再生を停止します。

トレイ オープン/クローズ ボタン

ディスクトレイを開け閉めします。

プレー/ポーズ ボタン

再生/一時停止を切り替えます。

電源 ON/OFF ボタン:

電源 ON/OFF のリモコンファンクションを装備した Power Base の場合にのみ機能します。

リピート ボタン:

リピートモードを次の三通りに切り替えます。
OFF → トラックリピート → ディスクリピート

HC/HC+Upsampling 選択ボタン:

(アップサンプリング機能オプションを装備した SIGNATURE DATA CD V に対してのみ有効)

HC(=ISHC;インター・サンプル・ハーシュネス・コレクション)とアップサンプリングのフィーチャーを選びます。

押すたびに次の三通りに変わります。

OFF → HC+アップサンプリング・オン → HC オン

※MSB DAC との組み合わせでは(MSB DAC に同一機能が入っているため)本機能は OFF にしてください。

※MSB 以外の DAC では HC オン または HC+アップサンプリング・オンを適宜選択してください。

※HC オンではディスプレイに"HC"の表示が出ます。

※アップサンプリング時には、ディスプレイのビットレートとサンプル周波数表示欄に [元の数値] > [アップサンプリング後の数値] の両方が表示されます。
例えば CD では 16/44.1 > 352

※その他のキーは DAC 及び iLink 用。
本機では使用しません。

リモコンの電池装着

本機のリモート・コントローラーは、CR2025 リチウム電池 2 個を使用します。電池を、次の手順で装着してください。

- 背面カバーを外します。
- バッテリー装着部の表示にしたがって、極性をまちがえないように電池を装着します。
- 背面カバーを元の通り取り付けます。

⚠️ ご注意

※リモートコントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。
※長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。

⚠️ 安全に関するご注意

リモコン用の電池の取扱について



下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、液もれや破裂したり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- +-を逆に入れないでください。
- +-をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさけましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池のもれ液が漏れて目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限：リモコンの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

メニュー・オプション

本機は、以下のように、デジタル処理におけるメニュー・オプションの設定変更が可能となっています。

(メニュー・オプションの表示は、フロントパネルの  ボタンを同時押しします)

・Upsampling ON/OFF :

アップサンプリング機能オプションを装備した SIGNATURE DATA CD V に対してのみ有効です。ON では、デジタル出力に対して最大 384kHz にアップサンプリング処理を行いません。

※MSB DAC との組み合わせでは(MSB DAC に同一機能が入っているため)本機能は OFF にしてください。

※MSB DAC との組み合わせで PRO I2S 接続した場合は、本機能は自動的に OFF となります。

※MSB 以外の DAC では ON を適宜選択してください。

・Upsampler Select :

アップサンプリングが有効な場合に、そのアルゴリズムが選択できます。好みの音質が得られるよう適宜切り替えしてください。

・Output Limit :

MSB DAC に対しては 384kHz、その他の DAC に対しては 192kHz など、使用する DAC の最大許容レートに適合するよう、本機の出カレートを制限できます。

・ISHC :

ISHC(インター・サンプル・ハーシュネス・コレクション)という再生音にデジタル特有の刺激的な付帯音がつくのを軽減する機能です。ON か OFF を選べます。

※MSB DAC との組み合わせでは(MSB DAC に同一機能が入っているため)本機能は OFF にしてください。

※MSB DAC との組み合わせで PRO I2S 接続した場合は、本機能は自動的に OFF となります。

※MSB 以外の DAC では ON を適宜選択してください。

・Display ON/Auto-OFF :

Auto-OFF を選ぶとディスプレイは通常非点灯となりますが、何らかの操作をしたときにのみ一瞬点灯します。

・Display Brightness :

1 - 15 の段階でディスプレイの明るさを調整できます。

・Restore :

設定変更したメニューオプションの各項目を出荷時初期設定に戻します。

※メニュー・オプションの設定変更方法は次頁をご参照ください。

メニュー・オプション操作のしかた

・フロントパネルの  ボタンを同時に押しとメニュー・オプションがディスプレイに表示されます。

・設定項目は右図の通りです。
・項目の上下移動は、



のボタンで、
・左右移動は、
 のボタンでそれぞれ行ないます。

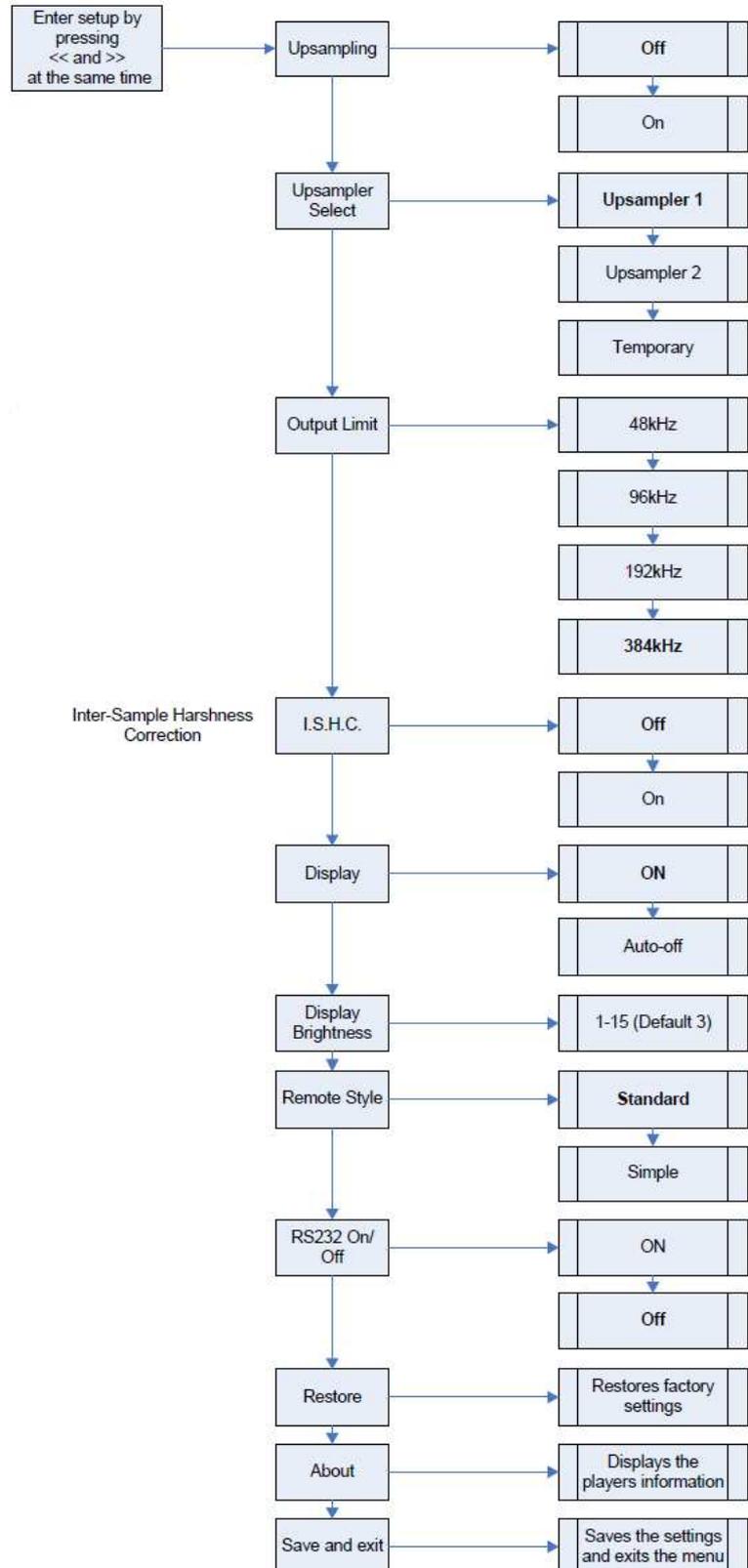
・設定項目が決定したら



ボタンで確定させます。

※各項目のデフォルト設定は右図の太字で表わしています。

・メニュー・オプションを終了するには、フロントパネルの  ボタンを同時に押します。



トラブルシューティング

- 音が出ない(デジタル出カしない)/ディスプレイに"No Disc"と表示される : ディスクがキズなどのダメージで再生不能の状態か、サポートされていないフォーマットのディスクである場合。
- トレーが開かない/再生しない : 一旦電源をOFFにし、トレー・オープン ボタンを押しながら再度電源をONにしてください。
- ディスプレイにはビットレート、サンプル周波数と時間経過は表示されるが音が出ない : 本機には異状が無いとされます。本機と接続したDACの最大許容レートなど、外部機器の再生条件をチェックしてください。

主な仕様

[Signature Data CD V] Specifications

- デジタルオーディオ出力: RCA, Toslink, AES/EBU, MSB PRO I2S
- ディスクタイプ: CD, WAV file on DVD(32bit/384kHz)
- ドライブ: MSB Signature CD-ROM Drive
- アナログ出力: 無し
- 電源: 100V AC, 50/60Hz
- 消費電力: 30W
- 外形寸法: 本体: 441W x 60H x 325D (mm)
- 重量: 本体: 6kg

※改良のため予告なく仕様変更される場合があります。

保証

本機の保証はアキسس株式会社が行いません。
同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。
折り返し、保証書をお送りいたします。
無償保証期間は 2 年間です。
保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27
アキسس株式会社
TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

AXISS